



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月8日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5302 URL <https://www.carbon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 藤川 浩史 (TEL) 03(6891)3730  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,857	11.3	1,057	△17.9	832	△31.2	481	△28.6
2025年12月期第1四半期	7,958	△5.7	1,289	△20.5	1,209	△31.3	674	△30.5

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 567百万円(△9.0%) 2025年12月期第1四半期 623百万円(△71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	43.58	—
2025年12月期第1四半期	60.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	83,604	62,883	64.1	4,864.26
2025年12月期	85,607	63,607	63.5	4,919.46

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 53,627百万円 2025年12月期 54,393百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	3.8	1,600	△38.7	1,800	△33.9	1,100	△52.1	99.49
通期	41,000	8.7	4,300	△10.6	4,600	△9.9	2,700	△44.1	244.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期1Q	11,832,504株	2025年12月期	11,832,504株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期1Q	807,605株	2025年12月期	775,616株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年12月期1Q	11,048,830株	2025年12月期1Q	11,056,168株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、技術関連投資が底堅く推移したものの、米国の通商政策の動向等が下押し圧力となりました。また、中東情勢の緊迫化等の影響により、原材料価格やエネルギー価格の先行きに対する警戒感が高まるなど、不透明な状況が続きました。

こうした事業環境の中、当社グループは、2025年を初年度とする中期経営方針「GO BEYOND 2030」に基づき、「収益性の向上」、「サステナビリティ経営の推進」および「株主還元強化」を重点課題に掲げ、諸施策を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が88億5千7百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。損益面につきましては、減価償却費等の増加により、営業利益10億5千7百万円(前年同四半期比17.9%減)、経常利益8億3千2百万円(前年同四半期比31.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億8千1百万円(前年同四半期比28.6%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

ファインカーボン関連製品につきましては、一部で回復の動きがみられたものの、半導体関連市場の需要拡大を見据えた製造設備増強投資の影響等により製造コストが増加し、収益性は低下いたしました。電極材関連製品につきましては、国内外の需要を取込んだことにより販売量は増加しましたが、米国の通商政策等を背景に収益性は低下いたしました。

この結果、売上高は74億2千万円(前年同四半期比10.3%増)、営業利益は5億2千2百万円(前年同四半期比34.6%減)と増収減益になりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維製品につきましては、航空機エンジン用途を中心とした需要が引き続き堅調に推移したことから、高水準での生産を継続いたしました。

この結果、売上高は11億1千3百万円(前年同四半期比11.7%増)、営業利益は4億1千5百万円(前年同四半期比2.3%減)と増収になりました。

## (その他)

その他の事業につきましては、資材価格の動向を注視しながら、製造コストの削減および適正価格での販売に努めた結果、売上高は増加し収益性は改善いたしました。

この結果、売上高は3億2千3百万円(前年同四半期比37.0%増)、営業利益は1億1千7百万円(前年同四半期比89.2%増)と増収増益になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億3百万円減少し、836億4百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加5億2千1百万円がありましたが、売上債権及び契約資産の減少20億4千万円等により、前連結会計年度末に比べ11億6千万円減少し、479億2千2百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産の減少4億3千4百万円、有形固定資産の減少3億9千4百万円等により、前連結会計年度末に比べ8億4千3百万円減少し、356億8千1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億7千9百万円減少し、207億2千万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少14億6千9百万円等により、前連結会計年度末に比べ12億7千1百万円減少し、173億6千8百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加1千6百万円がありましたが、長期借入金の減少2千万円等により、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、33億5千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億8千1百万円がありましたが、配当金の支払11億5百万円等により、前連結会計年度末に比べ7億2千3百万円減少し、628億8千3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中東情勢ならびに米国の通商政策等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。特に、中東情勢の影響に伴う原材料価格やエネルギー価格の影響は、現時点では予測が困難であります。当社グループとしては、関連市場への販売強化やコスト削減等の活動を継続して行っており、2026年2月10日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,180	15,166
受取手形、売掛金及び契約資産	11,371	9,697
電子記録債権	2,254	1,887
商品及び製品	3,451	3,835
仕掛品	12,233	12,346
原材料及び貯蔵品	3,959	3,983
未収還付法人税等	20	—
その他	619	1,012
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	49,082	47,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,792	19,835
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,148	△12,297
建物及び構築物（純額）	7,644	7,538
機械及び装置	55,208	55,459
減価償却累計額及び減損損失累計額	△44,392	△44,985
機械及び装置（純額）	10,815	10,474
車両運搬具及び工具器具備品	4,481	4,522
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,705	△3,738
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	775	783
土地	3,582	3,583
建設仮勘定	432	476
有形固定資産合計	23,250	22,856
無形固定資産	137	122
投資その他の資産		
投資有価証券	10,197	10,144
繰延税金資産	680	749
その他	2,262	1,812
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	13,137	12,702
固定資産合計	36,525	35,681
資産合計	85,607	83,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,906	3,745
電子記録債務	598	353
短期借入金	10,151	10,230
未払費用	718	565
未払法人税等	1,887	418
前受金	432	427
賞与引当金	222	475
役員賞与引当金	49	13
役員退職慰労引当金	10	—
受注損失引当金	16	16
その他	1,645	1,124
流動負債合計	18,639	17,368
固定負債		
長期借入金	180	160
繰延税金負債	1,124	1,116
退職給付に係る負債	758	775
役員退職慰労引当金	36	38
役員株式給付引当金	69	72
環境対策引当金	1	1
火災損失引当金	768	765
資産除去債務	62	63
その他	358	357
固定負債合計	3,360	3,352
負債合計	22,000	20,720
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,858	7,858
利益剰余金	37,074	36,490
自己株式	△1,967	△2,117
株主資本合計	50,367	49,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	2,922
為替換算調整勘定	1,028	1,091
退職給付に係る調整累計額	△25	△20
その他の包括利益累計額合計	4,026	3,993
非支配株主持分	9,213	9,255
純資産合計	63,607	62,883
負債純資産合計	85,607	83,604

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	7,958	8,857
売上原価	5,439	6,540
売上総利益	2,518	2,316
販売費及び一般管理費	1,229	1,259
営業利益	1,289	1,057
営業外収益		
受取賃貸料	5	5
為替差益	—	73
受取保険金	33	0
持分法による投資利益	48	—
その他	19	24
営業外収益合計	106	105
営業外費用		
支払利息	24	38
持分法による投資損失	—	44
為替差損	100	—
固定資産除却損	9	18
休止固定資産減価償却費	44	—
休止設備関連費用	—	214
その他	6	14
営業外費用合計	186	330
経常利益	1,209	832
税金等調整前四半期純利益	1,209	832
法人税、住民税及び事業税	416	258
法人税等調整額	△54	△21
法人税等合計	362	236
四半期純利益	846	596
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	674	481

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	846	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△98
為替換算調整勘定	△175	9
退職給付に係る調整額	14	5
持分法適用会社に対する持分相当額	—	55
その他の包括利益合計	△223	△28
四半期包括利益	623	567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386	452
非支配株主に係る四半期包括利益	236	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が148百万円(318百株)増加し、当第1四半期連結累計期間の自己株式の残高は2,117百万円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託(BBT)導入)

当社は、取締役の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1)取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2)信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は159百万円、株式数は456百株、当第1四半期連結会計期間の期中平均株式数は456百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	4,644	—	—	4,644	—	4,644
電極材関連製品	2,080	—	—	2,080	—	2,080
炭化けい素関連製品	—	997	—	997	—	997
その他	—	—	195	195	—	195
顧客との契約から生じる 収益	6,724	997	195	7,918	—	7,918
その他の収益	—	—	40	40	—	40
外部顧客への売上高	6,724	997	235	7,958	—	7,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	8	115	124	△124	—
計	6,725	1,005	351	8,082	△124	7,958
セグメント利益	799	425	62	1,286	2	1,289

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	4,818	—	—	4,818	—	4,818
電極材関連製品	2,602	—	—	2,602	—	2,602
炭化けい素関連製品	—	1,113	—	1,113	—	1,113
その他	—	—	282	282	—	282
顧客との契約から生じる 収益	7,420	1,113	282	8,817	—	8,817
その他の収益	—	—	40	40	—	40
外部顧客への売上高	7,420	1,113	323	8,857	—	8,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	214	214	△214	—
計	7,420	1,113	537	9,071	△214	8,857
セグメント利益	522	415	117	1,055	1	1,057

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	806百万円	853百万円